

学校教育目標：豊かな心を持ち、創造力に富む、心身ともに健康な生徒の育成



～みんなちがって みんないい～ ～人のために役立つ人間になろう～

校報 **ちぐさだい** 第9号

千葉市立千草台中学校
令和2年11月30日

コロナ禍と「生きる力」

校長 伊藤芳仁

気温の低下とともにきれいに見える星空を眺めると師走の訪れを感じる時期となりました。先日、学校のグラウンドと京葉道路の間の遊歩道で星空の観察を試みたところ、高所ではないのですが、北から東に大きく開けた場所で、意外にも星空の観察に適していました。星座とともに人工衛星なども観察でき、人里離れた感を味わえる雰囲気も楽しめます。これから益々空気の乾燥とともに晴れの日も増える時期ですので、感染拡大の懸念の中、気軽に楽しめる外出として「家族で星空観測」をお勧めします。

さて先日は1年生が校外学習として千葉市動物公園を訪問してきました。学区に隣接する施設ですので、移動に時間は費やさず、短時間でも有意義な学習になったと思います。この時期ならではの美しい紅葉や新たに仲間入りしたチーターが見どころで、近場ではありますが、新しい発見もある、有意義な一日となりました。

例年であれば、この時期に理科教諭による本校屋上での星空観察会があるのですが、今年度はコロナ禍の影響で開催を見合わせています。再び増加に転じたPCR検査陽性数の更新の報を聞くたびに、まだまだ続く先の見えない状況に不安を覚えるかと思えます。学校においては警戒しながらも、感染対策に最善を尽くすことで通常に近い学校生活の保障を目指し、行事も可能な限りの実施を検討し、工夫を重ねての成立を模索しています。そのような中、ふと以前国民栄誉賞を受賞した松井秀喜選手の話の思い出し、皆さんへ紹介したいと思います。

大リーグのヤンキースで活躍した松井選手は様々な悩みを抱えている時期が長かったと、インタビューで話しています。松井選手はヤンキースに入団した年、ホームランどころかヒットもなかなか打てず、打つと内野ゴロでアウトばかりだったそうです。ファンや新聞からはさんざん酷評され、「ゴロばかりのゴロキング」とあだ名をつけられるほどでした。ある記者が「あんなに打てなくて、悪口ばかり言われて野球をやめようとか、日本に帰ってこようとか思いませんでしたか？」と聞くと、松井選手は「もちろん僕も人並みに悩みます。苦しみます。失敗します。けれども、そこで挫折したり、逃げ出したりはしない。悩みや苦しみ、失敗や逆境をどう糧にしていくか。マイナスをどうプラスに変えていくか。いつもそんなことを考えています。」さすがだなと感心しました。そして「僕は、生きる力とは、成功を続ける力ではなく、失敗や困難を乗り越える力だと思います。」と語った言葉が一番心に残りました。

コロナ禍でも、部活動や勉強に頑張る千草台中の子どもたちは、体力・技能や学力の向上に加え、困難に立ち向かうことで「生きる力」も練磨されているのではないかと思います。学校運営をいつも支えていただいている保護者・地域の皆様に感謝するとともに、今後も引き続きご支援をお願いしまして、師走のご挨拶とさせていただきます。

◇『1・2年生 定期テスト』実施日変更のお知らせ！

2年生自然教室中止に伴い、当初予定していました第4回定期テスト2/16・17を次の日に変更します。

変更後の第4回定期テスト実施日：令和3年2月9日(火)、10日(水)

◇『1・2年生 保護者(三者)面談(12/11・14～16)』のお知らせ！

事前にお子様を通じて「健康チェック表」を配布します。ご自宅で記入して、受付に提出してください。その際、検温は行いますので、ご協力をお願いします。

感染症から生まれる差別・偏見を

どう無くしていくかを考える授業をおこないました

コロナ禍の影響が続く中、学校生活を含めた日常の生活にも、一部に制限があったり、新しい工夫が求められたりする状況が続いております。今までとは違う生活形式に変化していく中で、感染症に対する不安や感染者などへの差別・偏見などが社会問題になっているのも事実です。

学校でも感染予防を続けていきますが、新型コロナウイルス感染症には誰もがかかる可能性があることを前提に、日本赤十字社監修の「新型コロナウイルスがもたらす3つの“感染症”」の考え方をもとに、差別・偏見について考える授業を実施しました。



3つの“感染症”とは？

- ① “病気” そのものの感染症
- ② “不安” という気持ちの感染症
- ③ “差別・偏見” という意識の感染症

この3つの感染症が負のスパイラルとしてつながることで、さらなる感染拡大や、社会問題の深刻化へとつながっていきます。

授業を受けた生徒の声

*たたかうべき相手は人ではなくウイルスです！

- 自分もかかる可能性があるから、感染した人にどうこう言わない。(1年生)
- 相手のことを思い、個人情報を探らない。(1年生)
- 感染した人を温かく迎える。(1年生)
- 人のうわさにつられたり、根拠のない差別的な発信をしない。(2年生)
- 感染した人のことを悪く言う人がいたら、注意する。(2年生)
- 感染した人の気持ちになって、普通に接する。(2年生)
- 優しさと思いやりの心をもつ(2年生)
- 自分がされて嫌なことは、他の人にしない。(3年生)
- うわさやSNSの情報をうのみにせず、冷静に事実を見ること。不確かな情報を広めない。(3年生)
- 誰にでも感染リスクがあるのだから、もし感染した人がいても「嫌だな」という考え方をしない。(3年生)

毎日新聞で紹介(R2.11.18)されました！

・「真理」を校訓とし、った。「生徒さん一人金子みすゞの詩の一節一人が、その人らしく「みんなちがって、みんないい」などを教育の柱にしている。こう書いた」と森さん。伊した同校の教育に共感、藤芳仁校長は「コロナ禍の地域の子どもたちへ、みんなちがって、みんないい」がさを励まそうと書を贈らに生きてくる。カ



校長室に掲示された森さん(左)の書と伊藤校長
地元中学の校訓
書に表して寄贈
千葉の書家・森さん
毎日書道展審査員
の書家、森舞扇さん
千葉市稲毛区天台
が、地元の同市立千
草台中学校の校訓と教育
の柱に掲げている言葉
を書き、同校に寄
贈した。同校の玄関と
校長室に掲示されてい
る。
同校は「自立・友愛

【12月の予定】

- 12/ 1(火) 実力テスト(3年)
- 3(木) ネット安全教室
ちぐさ寺子屋(公民館)
- 4(金) 人権教室(1年)
- 7(月) 入学説明会(6年生)
- 10(木) 職員会議(完全下校)
- 11(金)、14(月)~16(水)
保護者面談(1・2年)
- 24(木) 給食最終日
- 25(金) お弁当の日
全校集会(放送)
- 26(土)~1/5(火) 冬休み

【山田利和】

強く温かみのある字で、子どもたちへのエールになる」と喜んで